

第1回長崎県男性行政保健師のつどい

開催日：H30.11.4 18:00 開催場所：佐世保市内某所

共催：長崎県看護協会保健師職能委員会



諫早市
中島

松浦市
松下

県央保健所
阿野

松浦市
平田

佐世保市
谷口

壱岐市
吉永

今日は集まれなかったけど他にも県内には2名の男性保健師がいます



どうして保健師になろうと思ったの？きっかけは？

- ・学生時代、実習先の保健師から「長崎県は男性の保健師を求めている！」との言葉に背中を押され保健師を目指しました。
- ・小さい時から保健師の存在は知っていた。病気の予防について勉強していく内に保健師の活動を行っていきたいと思うようになった。
- ・夜勤がないから・・・
- ・大学浪人時代に予備校の先生から看護職を勧められた。
- ・就職浪人していた時、産休代替で保健師の仕事に就いて魅力を感じました。

男性保健師ならではの悩みとか困ったことってあるの？

- ・女性が多い職場がほとんどですが、仕事をしている上で特にきになることはないですね。
- ・母子保健分野の単独での訪問には、気を使います。できるだけ、一人で訪問しないような工夫を考えたりします。始めから訪問しない選択はしてほしくない。
- ・高齢のおばあちゃんから、「女性の保健師がいいです」と言われたことがあります。でも、それは対象者に合わせるしかないですね。
- ・不妊治療の経験を仕事に活かすこともしています。男性でも大丈夫と言ってもらえるようになりました。



今後やってみたいこと、目指す保健師像は？

- ・現場の経験を活かした後輩指導など人材育成の分野もやりがいやおもしろさを感じています。今後は大学などの教育者にもなりたいと思っています。
- ・仕事は生活の糧。与えられた仕事をしっかりやりぬきたい。
- ・男性目線からのアプローチをしていきたい。育児支援や定年後の仲間作り教室など考えていきたい。
- ・どの部署に行っても、街をみて、健康問題を追及できる仕事をしっかり行っていきたい。

